

茨城県議会議員

とこい洋治 県政報告NEWS

地元の声を全力で訴える

課題解決へ

大きく前進!!



▲少し緊張ぎみに、ご支援をいただいた多くの皆様に感謝の意を表して始まった、常井洋治の初めての一般質問

初めての一般質問

県議会壇上で堂々の論戦を展開

常井洋治県議は西茨城郡でトップ当選後、早くも9ヵ月を経過しましたが、9月10日第3回定例会の本会議において、初めての一般質問を行いました。その中で、有権者の7割を占めながら、県議不在であった友部・岩間両町の課題を中心に、一つひとつ取り上げ、県政の停滞を解消すべく、知事等に対して解決策を迫りました。その情熱的で真剣な質問に対し、極めて前向きな答弁が得られ、今後の西茨城郡の発展に大きく結びつくものと確信しております。

常井県議の新人らしからぬ論客ぶりは、当日300人の傍聴者を始め、執行部、議会からも相当な評価を得ることができました。

これを契機に、常井県議が西茨城郡の住民の代弁者として一層活躍することを期待しております。



一緒に創ろう！ ふるさと西茨城郡の新時代

とこい洋治一般質問要旨

平成11年第3回茨城県議会定例会は、9月6日から24日までの19日間開かれました。緊急雇用対策事業等に伴う一般会計補正予算195億21百万円、条例、意見書など51議案を議決しました。ここに、今定例会での常井洋治県議の一般質問の内容を紹介します。

地方分権制度の実現と将来像について

常井県議…知事は、地方分権制度の実現をどのように評価し、理想的な分権型社会の実現に向けて、どのように取り組まれるのか伺いたい。

橋本知事…今回の地方分権一括法は、行政システムの改革としては大きな前進だが、財政システムの分権化としては不十分であり、早急に税財源の移譲を国に対し強く要請して参りたい。また、分権型社会の下では、住民の望むことが行政に反映しやすくなり、地域の特性に根ざした社会が実現できることになる。自治体は、自己決定権に見合った「説明責任」と行政の「透明性」の確保が重要になってくる。

常井県議…地方分権の主体づくりとなる合併を進めるには、県は先ず、将来の県土において、どのように都市を集積していくかなど、¹県のかたち、のイメージを提示して、合併の必要性を説くべきではないか。

橋本知事…具体的な合併のパターンの例示などを盛り込んだ「市町村の合併の推進についての要綱」を策定し、合併を推進してまいりたい。「県のかたち」のイメージは、この要綱の中で表現されてくるものと考えている。

今後の行財政運営と自治体経営の方針について

常井県議…県財政は、危機的状況にあり、このまま進むと自治体倒産ともいえる財政再建団体への転落の恐れがある。今こそ、「施策の選択の時代」であり、知事も、メリハリをつけた県政運営を強く求められているが、決意をお聞きしたい。

橋本知事…常井議員指摘のとおり、「施策の選択の時代」であるので、あらゆる工夫を重ね、限られた財源を真に必要な施策に重点配分し、行財政改革を不退転の決意で推進していきたい。この難局を歯をくいしばって、あらゆる努力を重ねながら乗り切っていくことが、自治体経営者としての私の最大の課題であると考えている。

常井県議…今後の財政収支見通しについてお伺いしたい。

橋本知事…財政収支については、現下の厳しい経済情勢等を考慮した場合、名目経済成長率ゼロ%の試算を基本に今後の見通しを考えるのが最も現実的だと認識する。これを前提にすると、12年度には900億円、それ以降毎年度1000億円を超える巨額の財源不足が見込まれ、「財政再建団体」への転落という最悪の事態をも想定しなければならないほど深刻な状況にある。

総合流通センターの整備について

— 着々と整備推進の方向 —

常井県議…友部町に計画されている総合流通センターは、97%の用地を取得済みであり、常陸那珂港や北関東自動車道の建設に伴い、その役割、ニーズは益々高まってきている。また、恒常的な雇用対策の面からも期待が大きいが、今後の整備について伺いたい。

〈全体イメージ〉



商工労働部長…

近年の低調な企業の

立地動向や厳しい財政状況に

かんがみ、造成工事を先送りしているが、地区外の関連公共施設については、先行して整備を進めている。今後は、企業の立地動向を踏まえ、本県の物流機能の向上と地域発展に寄与できる流通センターの実現に向け努力していきたい。

畜産試験場跡地利用について

— 県が積極的に動き出す —

常井県議…友部町にある県畜産試験場は、12年5月に八郷町に移転するが、現在地約40haの跡地利用方針については、依然として白紙であり、何らの基本指針も示されていない。地域発展の起爆剤として、有効に活用する方策を早急に講じる必要がある。理念のない安易な売却論などは、地元として到底容認できるものではない。将来の方向性の検討に当たって、地元や学識経験者などからの意見を聞くための協議機関の設置を提案したい。

企画部長…この土地は、交通便利性が高く、今後とも更なる発展が見込まれている。早い時期に、民間活力の導入等も含め、地域振興に資するための幅広い利活用の方策を検討していく必要がある。なお、検討に当たっては、地元自治体と連絡を密にしながら、協議調整を行うとともに、必要に応じて有識者等の提言の場を設けるなど広範な意見の収集に努めてまいりたい。



▲ やっと、県が動き出すことになった畜産試験場跡地。友部町はじめ周辺自治体の対応も重要になってくる。住民の意見反映を強く望みたい。常井県議は、特に熱心に取り組んでいます。

中央病院、友部病院の整備充実について

中央病院に専用ヘリポートを検討

常井県議…①県立中央病院は、県立で唯一の総合病院であり、県民の命と健康を守る基幹病院として、救命救急センターとしての機能を付加すべきだと思うが今後の方向を伺いたい。

また、災害拠点病院としての役割の重要性や、今後の臓器移植に対応するため、専用ヘリポートが不可欠と考えるので、設置を強く求めたい。

②県立友部病院は、築後40年を経過し老朽化が著しいため、患者や職員にとって劣悪な施設状況となっているので改築するべきではないか。また、今後の児童・思春期治療の要請に対応した役割を担う考えはないか。

保健福祉部長…①県立中央病院は、現在救命救急センターと比較して、医療スタッフや設備等も遜色なく整備して救急医療を行っている。今後とも、この体制のもとに救急患者の受け入れを行ってまいりたい。また、ヘリポートについては、中央病院は、水戸保健医療圏における地域災害医療センターとして設置を検討してまいりたい。

②友部病院については、常井県議指摘のように児童・思春期の精神医療の充実が課題となっている。県では、「県精神保健福祉審議会」に今後の精神医療の在り方を諮問した。この中に、県立精神病院の在り方を検討する委員会も設置された。本年度中に出される答申を踏まえ、新たな観点から整備構想等を策定してまいりたい。



大きく進む…

友部・岩間・岩瀬町の幹線道路整備

とこい洋治は、「道路こそ一番の福祉ですよ」という住民の声を背に、整備推進に取り組んでいきます。

西茨城郡の道路交通体系の整備について

(1)北関東自動車道及び側道の整備

12年春、友部ジャンクションまで供用見込み
12年度中、友部I.C.まで供用予定

常井県議…北関東自動車道は、西茨城郡の振興のためにも極めて重要な基幹道路であり、地域住民は一日も早い完成を願っている。今後の整備見通しについて伺いたい。また、その側道を整備して、最短距離で、飛び地となっている群内地域間の交流を図れるようにすべきではないか。

土木部長…北関東道は、水戸南I.C.から常磐道とのジャンクションまで、来春には供用される見込みである。残る友部町から岩瀬町を経て栃木県境までの区間については、道路公団が地元と協議して道路設計を進めており、設計がまとまり次第、用地測量を行い、早期に用地買収に着手する予定となっている。また、側道整備については、高速道路により分断された



▲整備の進む北関東自動車道（友部町内）。北関東はもとより、東日本全域と直結できることになり、西茨城郡の発展にも大きなインパクトを与えることになる。

り、土地利用に支障が生じる場合など、現道の機能が損なわれることに対する補償として、整備する方針と聞いている。

(2)国道355号石岡・岩間バイパスの整備—早期供用へ事業推進

常井県議…この道路は、地域間交流の基盤としての重要性と北関東自動車道へのアクセス道路という役割を併せ持つことになり重要性を増している。早期整備が望まれるが、現況と今後の見通しを伺いたい。

土木部長…本バイパスは、石岡市石岡地内から岩間町押辺地内までの区間延長7.9kmを対象として事業を進めており、10年度までの全体の進捗率は50%となっている。今後とも、早期供用に向け事業を推進してまいりたい。

(3)県道南指原岩間停車場線の整備

岩間～吾国山洗心館 交通不能道解消へ大きく前進

常井県議…この道路は、今の時代に誠に残念なことに、県道で20路線あると言われる交通不能路線となっている。吾国山洗心館まで、残る1.5km余りが開通すれば、岩間・友部町から笠間市やつくば市へ最短距離でのアクセスが可能になる。地域住民は、全線開通に熱い期待を寄せている。今後の整備見通しを伺いたい。

土木部長…残る1.5kmの大半が「吾国愛宕県立自然公園」の第三種特別地域を通過することから、環境調査を実施してきた。今年度は自然公園条例等に基づく同意を得て、用地測量に着手するとともに、一部の区間について工事を実施する予定である。

(4)友部町環状道路の整備

鴻巣跨線橋、11年度中に供用開始へ

常井県議…この道路は、市街化の進む友部町の交通混雑を解消し、国道355号と50号へのアクセスを容易にするためには非とも必要な道路である。現在の進捗状況と整備見通しを伺いたい。

土木部長…都市計画道路宿大沢線については、県道杉崎友部線（南友部JT通り）から、JR常磐線をまたぎ、県道友部内原線（中央病院通り）までの延長830m区間については、現在舗装工事を行っており、今年度中の供用を予定している。また、県道友部内原線から県道平友部停車場線（駅前通り）までの区間1200mについては、今後、地権者のご協力を頂き、測量調査等（路線測量・詳細設計・用地測量）に着手したいと考えている。

都市計画道路上町大沢線については、国道355号バイパスから平町の現道に至る延長約900mの区間について、一部を除き用地測量を完了している。今後は、引き続き地権者のご



▲一般質問を終えて知事と握手。常井県議の質問に真剣に対応してくれた橋本知事に謝意を述べた。

※民間での「破産」の状態。指定団体は、完全に国の管理下には入る。国の援助を前提に7年以内の収支計画をつくる。国の基準を超えるサービスの廃止や施設使用料等の値上げを迫られることになる。この計画の変更は、エンビツ1本に至るまで自治大臣の承認を要する。現在、福岡県赤池町が唯一の指定団体。

総務企画委員会

深刻な財政危機 「財政再建団体」へ転落も

※ 県は、平成12～14年度における財政収支見通しを明らかにしました。それによると、3か年の累積財源不足は3300億円が見込まれ、その解消対策として、人件費の抑制、公債費の見直し、事務事業の見直し等現時点で考え得る取組みを全て考えても2300億円程度であり、平成11年度末の基金残高240億円を全部活用しても、平成14年度末までに760億円程度の赤字額が生じることが明らかになりました。本県の場合、赤字額が270億円を超えると「財政再建団体」に転落することになります。常井委員の質問に対し、全国的に転落の危険順位として、9～10位程度に入ると総務部長から見解が示されました。

要望に応じて……



▲友部町小原、杉崎友部線の側溝整備要望



▶ 岩間南部土地改良
区の排水処理要望



▲岩瀬町入郷地区への県営住宅建設の要望

……とこい洋治は、直ちに行動します！

燃える郷土愛。全力投球!!

皆様の日頃のご支援に対し、深く感謝申し上げます。この度初めての一般質問をさせて頂き、地元西茨城郡の諸課題を思い切り訴えることができました。質問、答弁を含めて60分という時間の制約の中で、次回に先送りしたものも多くありますが、選挙で皆様に訴えた主なものは、殆ど取りあげることができました。そして、執行部も真剣に対応して頂き、西茨城郡の明るい未来に向けて大きな山が動くような手答えがありました。これも、ひとえに、私に頂いた13,630票の尊い力の賜とっております。

私は、質問の最後に述べたように、21世紀に向けた県政のキーワードとして、①「県民の目線で考える」、②「風穴を通す」という2つを考えております。常に皆様

と同じ目線に立ってものを考え、固定観念を打破し、間断なき改革を続行し、風通しの良い県政をめざして、提言を続けてまいりたいと考えております。

なお、この度、「決算特別委員会」が新たに設置されましたが、私は、引き続き委員に選任されました。常任委員会の総務企画委員と併せて、精一杯やらせていただきます。

私、常井洋治は、皆様の御用聞きに徹し、その声を県政に反映させてまいります。今後とも引き続き絶大なるご支援をお願いいたします。

茨城県議会議員 常井洋治